



元気モリモリ!!!通信

2025年晩秋・初冬号

「次の内閣」

ネクスト国務大臣

(内閣部門総括・国会公安委員会・防災等担当)に 就任

いつでも政権交代できるように

英国では野党が組織する「影の内閣(シャドーキャビネット)」が正式な機関として予算が計上され、議会内に専用執務室が置かれています。これをモデルとして我が国でも立憲民主党が「次の内閣(ネクストキャビネット)」を組織しています(予算や執務室はないです)。

この秋、森山は内閣官房・内閣府・警察庁を中心に担当するネクスト国務大臣に就任しました。カウンターパートとなるのは官房長官をはじめとして内閣府の各担当大臣、国家公安委員長、防災大臣、防災庁設置担当大臣など多岐にわたります。

- [1] 日常的には毎週(閉会中は隔週)のネクスト閣議で議員立法の登録・審査や閣法案の賛否・対案・修正案など目の前の案件の対応
- [2] 中長期的には政権交代したらこれをやるという政策や方針の立案

が主な仕事で、カウンターパートの大臣との議論も表に立って行います。

○主な担当分野

危機管理・治安・警察・経済安全保障

政治的決断が必要な分野。いずれも「最悪の事態を想定して準備する」ことが基本ですが、想定外の事態に対処することが必要。個人の権利とのバランスを最重要として議論。

経済財政政策

全体を見ながら中長期の日本のあり方を展望。行きすぎた円安にも問題意識を持っています。

カジノ管理委員会

カジノ・IRについてはギャンブル依存症や国際的犯罪組織の問題など多くの社会的リスクの解決ができないうまま強行採決された法律を根拠に走り出しています。まずはしっかり枠をはめることが大事です。

災害対策・防災庁設置

長く災害対策に携わってきた私のライフワークの一つ。災害対策のレベルアップとともに「機能する防災庁」とするため、積極的に提言し、必要な対案や修正案を作成へ。

宇宙・海洋・科学技術

日本が先進国として世界に貢献するためにも「目の前のお金になる研究」への研究費集中を脱し、基礎研究や学際研究をしっかり後押し。



知的財産・クールジャパン

テレビ局出身の森山にとって大変近い分野。文化・芸能やコンテンツなど「日本がこれから生きる道」をしっかり後押し。



衆議院議員

もりやまひろゆき

森山 浩行

大阪府第16区(堺市 堺区・北区・東区)

プロフィール

◆堺生まれ、堺育ち

妻子と向陵西町(榎校区)在住

昭和46(1971)年4月8日

金岡病院で生まれる

・堺市立新金岡小学校入学/錦西小卒

・堺市立月州中学校卒(水泳部)

・大阪府立三国丘高卒(柔道部・生徒会)

◆明治大学法学部卒(雄弁部所属)

・カンボジア、旧ユーゴスラビア、阪神大震災等でボランティア活動

◆関西テレビ放送(営業企画部・報道部記者)

◆堺市議会議員(1期1999～2003)

◆大阪府議会議員(1期2003～2005)

◆芦屋大学 元客員教授

◆羽衣国際大学 元客員助教授

◆堺市立三国丘中学校 元PTA会長

◆堺高青青年会議所シニアクラブ 会員

◆堺市倫理法人会 顧問

◆日創研 南大阪経営研究会 会員

現在の役職

衆議院

◆内閣委員会理事

◆災害対策特別委員

立憲民主党

◆ネクスト国務大臣(内閣部門総括、国家公安委員会、防災等担当)

◆企業団体交流委員長代理

◆大阪府連代表

森山 浩行 事務所

【堺事務所】〒590-0078

大阪府堺市堺区南瓦町1-21

宏昌センタービル2階

TEL.072-233-8188 FAX.072-233-8185

【国会事務所】〒100-8982

東京都千代田区永田町2-1-2

衆議院第二議員会館613号

TEL.03-3508-7426 FAX.03-3508-3906

Mail: office@moriyama.club

議場における野次について

高市首相の所信表明演説に対する野次についてネットで議論が盛り上がり、当該議員が「礼節を欠いていた」部分について謝罪しています。

これまで政治に関心のなかったみなさんも国会での議論に関心を向けるようになることは民主主義の質を高める上でも大事なことで歓迎します。

一方で前提や制度などについて事実誤認などが散見されるため、整理しておきます。

前提としてももちろん「議事妨害」や「品位に欠ける野次」については厳に慎むべきであり、議員本人が自粛しない場合は①議長が注意する権限を持っていますし、②与野党各会派の議院運営委員が場内協議をする、という制度的保障もあります。吉田首相が「バカヤロウ」とつぶやいたことで解散に繋がったり、最近では安倍首相が予算委員会で品位に欠けるヤジを注意されたのをきっかけに議論になったこともあります。



野次は「異議申し立て」

国会での議論は真剣勝負です。「人の話は最後まで聞くように教育しているのに子どもに見せられない」というご意見もありましたが、ボクシングの試合を見て、選手に「殴るな」といわないように、国会においてはこの「異議申し立て」は大事な要素で、諸外国においても独裁的国会では整然としている一方、議会制の祖・英国などでのもっと激しい野次の応酬は有名です。日本の国会でも新聞記事やニュース映像にも数多く残る「〇〇という野次が飛びました」「野次と怒号の中で」などの表現でも分かります。これまで国会の様子をご覧になっていない方は驚かれたかもしれませんが、野次は日常の光景で、発言者が訂正したり、他議員のヤジで問題の核心を認識したり、することも少なくありません。

私自身も安倍首相の所信表明演説で「改善」を「改ざん」と言い間違えたことを野次で指摘し、首相が訂正したことがニュースになり、のちの森友事件の改ざんに着手した時期との関係に発展したこともありました。

それぞれの民意を背負って議場に臨む私たち議員にとっては

- ①発言者の事実誤認や言い間違い
- ②主張の矛盾
- ③理不尽な主張に対しての「異議申し立て」

という面があり、発言の機会が直後にあるわけでない場合、その場で即時にマイクなしの野次で対峙するしかありません。

発言者の「伝える」責任

私自身が登壇する際には常に裂帛の気合で臨んでいます。本来的には議場(本会議場でも委員会室でも)でマイクを握って話す側は圧倒的強者です。一義的には「発言者が野次に負けない演説をする」責任がありますし、マイクを握っている側は〇〇さんはこうおっしゃっていますが、ここはこういう意味です」と反論や補足をすることもできます。

森山への批判について

当日テレビで野次最中の森山の映像が放送されたことで批判があるようですが、私自身は弁論部出身であることもあり、「品位に欠ける野次」や「議事妨害」とならぬよう大いに意識しながらしっかり発言者の言葉を聞き、緊張感を持って本会議や委員会に臨んでいます。この日についても私自身の野次がこれらに当たるとは認識していません。

人間ですから「上手い、下手」や「出来、不出来」もあり反省することもあります。野次そのものがダメだという強すぎる同調圧力に屈することなく、基本的に野次は「発言者が息を吸ったとき」を目掛けていますし、内容にも気をつけ、今後も言うべき時にはきちんと異議申し立てをしていきます。

元気モリモリ!!!座談会

皆さんの暮らしと国政をつなぐ場です。
お気軽にご参加ください!

どなたでもご参加いただけます。国会状況・政治事情などで、急な変更の可能性もありますので、事前にお問い合わせください。

12月21日(日) 15時30分～
堺市総合福祉会館4F「第3会議室」
(堺市堺区南瓦町2-1)

《ZOOM開催》

12月10日(水) 18時30分～

座談会参加
申込フォーム
QRコード



立憲民主党
堺市支部
〒590-0802
堺市東区中島町1-2-4
TEL 072-241-1111
FAX 072-241-1102



ぜひ、ご意見をお寄せください!



森山ひろゆきの
最新情報発信は
こちら

